

いじめ問題解決に向けた子ども会議 2/21



この日、藤岡市内全小・中・高等学校19校の代表児童・生徒が集まり、市内の学校から、いじめ問題を出さないための方策について話し合いました。本校からは、生徒会本部のMTさんとRY君が参加しました。

過去の話し合いから生まれた「スマイルハイタッチ運動（挨拶運動：下の写真

参照）」「ハッピーハートフルーツリー運動（良いところ探し・感謝の気持ち）」は、全校で定着しています。

今回のテーマは「ネットいじめ」です。本校生徒会長のMTさんが、いじめとネットいじめは違うとの考え（ネットいじめは相手が見えない分、いじめに対する罪の意識が薄く、簡単に参加してしまう危険がある）を発表しました。この考え方がその後のごとの話し合いに大きく影響したように思います。班ごとに出された方策を、藤岡市のいじめ撲滅行動目標として、次の3つにまとめ上げました。

- **相手が喜ぶ言葉を使おう！**
- **送信する前に確認しよう！”**
- **大切なことは相手の目を見て伝えよう！**



小中連携挨拶運動（児童会役員来校）2/24
前日の陽気が一変し、冷たい北風が吹き付ける中、小学校児童会役員が笑顔とはイタッチで鬼中生の登校を迎えてくれました。期末試験準備の疲れと寒さで無表情だった中学生も思わずニッコリ。
小学生の皆さん、ありがとうございました。

自然から学ぶ楽しさを味わってみませんか？

開校31年目の本校は、いくつかの分野で新しいことに挑戦しました。

まず、1・2年生の有志が初めて県合唱フェスティバルに参加してきました。歌う鬼中の新たな流れです。

さらに、2学期末には、生徒会が主導して、「ネット利用ルール」を親子の話し合いで作りに上げてくれました。現在、本校生徒はネットに支配されない自由な時間を享受しているはずです。

さて、心の余裕が出てきたら、ちょっと立ち止まって、鬼中地区の豊かな自然をじっくり観察してみましょう。自然のちょっとした変化に、「なぜだろう」と思えるようになったら、毎日が楽しくなりますよ。科学が発達していなかった時代、もちろん気象衛星のない時代、鬼石地区の先人たちは身の回りの自然環境の変化から気象の変化を読み取っていました。

例えば、「魚が水面に浮かぶと雨が降る」、「御荷鉾に雲がかかると雨になる」、「蜂が下の方に巣を作るときは台風が多い」「神泉地区の山に雲がかかると雨になる」などがそれ例で、総称して観天望気（かんでんぼうき）と呼びます。生活経験から生まれた知恵です。浄法寺地区の生徒が「時雨橋から天気が変わる」と教えてくれましたが、これも生活経験から出てきたものです。確かに、時雨橋から上（かみ）では雪、下（しも）では雨ということがありました。自転車で通学しているからこそ感じる変化なのでしょうね。さすがです。

冬場の本校の校庭やテニスコートの端では、霜柱が見られます。最近ではアスファルトやコンクリートで地面が覆われ、霜柱を踏みながら歩くことも少なくなったので、懐かしい感じです。しかし、昼間はぬかるみになり、閉口しています。

この霜柱の語源は、シソ科植物のシモバシラであると資料で読んだことがあります。私が埼玉県の子で初めて目にしたのは（右の写真）、その「シモバシラ」の氷の花で、本当に美しい自然の造形物でした。「なぜできるのだろう？」と疑問に思って調べてみました。答えが見つかった時の感動は、何物にも代えがたいものです。ちなみに、本当に珍しい自然現象であり、見学ツアーが組まれることもあるそうで、この花を見ることができた私は本当にラッキーでした。

皆さん、次の休日に屋外に出たら、ちょっと立ち止まり、鬼石地区の豊かな自然をじっくり観察してみませんか。

（PTA 広報「礎」にも掲載）



自転車通学者の転倒防止対策

諏訪地区内の自転車通学路改善のために、区長さんが動いてくれています。今回はグレーチング（金属の側溝ふた）上で雨や雪の日に転倒する生徒が多いことから、スリップ防止機能付きのふたへの交換をお願いしています。先週の申し出に対し、藤岡土木事務所の回答は「現状維持」でしたが、生徒の安全確保のために訴え続けていきます。